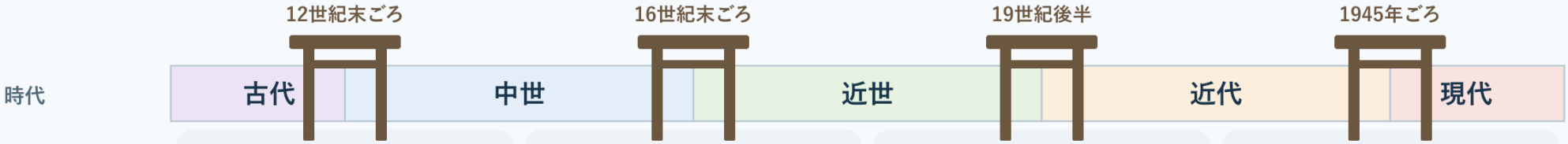
時代の区切りで変わったこと（古代から現代へ）

古代・中世・近世・近代・現代の区切りでは、何が大きく変わったのでしょう



区切りのできごと	鎌倉幕府ができる	全国が統一される	明治維新	敗戦と戦後の改革
政治	天皇と貴族（朝廷）が政治の中心 → **武士の政権（幕府）が力をもつ**	戦国大名が各地で争う → **全国が統一され、幕府と藩が治める**	幕府と藩が治める → **新政府が全国を治める（廃藩置県）**	大日本帝国憲法（天皇が主権をもつ） → **日本国憲法（国民が主権をもつ）**
土地と税	口分田のしくみがくずれ、荘園が広がる → **荘園・公領に地頭を置き、土地を管理させる**	荘園などで、土地の権利が入り組む → **検地で土地と耕作者を記録し、石高で年貢**	石高をもとに、米などで年貢を納める → **地租改正：地価の3%を現金で納める**	地主から土地を借りて耕す小作農が多い → **農地改革で、多くの農民が自分の土地をもつ**
社会のしくみ	貴族が中心の社会 → **武士が御恩と奉公で主従として結び付く**	武士と百姓の区別がはっきりしない所もある → **刀狩などで、武士と百姓の身分が分かれる**	武士・百姓・町人などの身分に分かれる → **身分制度を廃止（差別は残った）**	選挙権は25歳以上の男子だけ → **20歳以上の男女に選挙権**

区切りでは、政治・土地と税・社会のしくみが、いっしょに大きく変わっている。

※ 区切りの時期は目安で、区切り方には複数の考え方がある。帯の幅は期間の長さを表さない。札は主な変化の例。